

北海教区のみなさま

～胆振東部地震 教区議長メッセージ～

主よ、わたしの祈りをお聞きください。

嘆き祈るわたしの声に耳を向けてください。 (詩86)

北海道の地を、台風21号と胆振東部地震が襲いました。多くの命が失われ、さらに多くの方々が住まいや生活を損なわれました。嘆きと悲しみ、痛みと苦悩が地を覆っています。主の守りと慰めを切に祈ります。

北海教区内の教会・伝道所・関係団体の被害状況について、教区幹事のもとに寄せられた情報をまとめて別紙にてお知らせいたします。今後、状況が落ち着いてくるにつれ、さらに被害が明らかになってくる可能性もあります。どうぞ祈りにお覚えください。

初めて経験する全道規模の停電など、災害の影響は想定を超えた広範囲に及び、いまもって完全な復旧は至っていません。今後、日常生活の困難な状況がしだいに解消されていったとしても、流通・農漁業・製造業・医療・介護施設など、さらに長期間にわたり深刻な影響が及ぶことも考えられます。隣人と手を携え、祈りをあわせ、支えあって共にこの事態を生きることを志しましょう。

北海教区に対し、北海道外から祈りと共に多くのメッセージがよせられ、支援と協力の申し出をいただいています。北海教区の諸教会への支援については、今後、被害状況を詳細に把握していく中で、各方面と連絡をとりながら必要な手立てを探っていきたいと思います。

7日および8日に、教区幹事ほか数名が、大きな被害が報じられた地域を視察に回りました。その結果、週明けの10日、関東教区新潟地区や西東京教区・SCF(学生キリスト教友愛会)の協力により、厚真町の避難所に必要な物資を届けることとしました。今後のさらなる支援活動についても検討中です。

こうした状況の中ですが、とりあえず支援の献金を教区の口座で受け付けることといたしました。下記の口座をご利用ください。**その際、「地震支援」と明記してください。**

郵便振替 02730-7-8339 「日本基督教団北海教区会計」

主の平和がありますように

2018年9月8日
北海教区総会議長 久世そらち